

(5)その他

1)補習授業

工学部は 25 年度補習授業として下記のように実施した。

・補習教育：

25 年度は、入学式の週末に全新入生に対して物理・化学・数学の基礎学力テストを実施した。教員の負担軽減のためにマークシート方式とし、採点集計については外部委託した。成績については WebCT に入力し、学生個人が自らの成績を閲覧できるようにした。前年度と同様、物理・化学・数学について、成績下位の学生および希望する学生に対して補習授業を実施した。補習授業開始時に補習授業の位置づけを受講者に説明して意識を高めた結果、出席率は大幅に改善した。また、昨年同様に出席状況のモニター結果に基づく各学科での指導や、学科の個別行事などとの重複を極力避ける配慮を行った。物理および化学の補習授業は、担当教員による講義と演習を4月末から毎週1回、合計それぞれ10回実施した。数学の補習授業は、講師1名に学生5名程度のクラスを設け、5月から毎週1回、合計それぞれ10回実施した。今年度は講義形式で実施するクラスを1クラス、個別学習相談方式で実施するクラスを3クラス設けた。

・基礎解析(留学生科目)：

前学期と後学期でそれぞれ留学生を対象に開講した。ほぼマンツーマンに近い形で個々の学生の苦手とする数学科目の内容について、講師による丁寧な解説と問題演習の反復により、学生の理解の促進を図った。また、数学教育に加えて、プレゼンテーション演習を授業に組み入れることで、留学生の日本語コミュニケーション能力の向上も目指した。